

二・四沖繩全県セレスト連帯

沖繩問題日米京都会議粉砕

全関西青年学生総決起行動への参加呼びかけ

一九六九・一・一四

呼びかけ団体

京都反戦青年委員会
全大阪反戦青年委員会

一九六九日、われわれはいま、七〇日安保斗争の動向を決定づける重大な日に突入した。佐世保工場の斗争に始まり、三里塚・王子・北九州・呉・伊丹など、日本帝国主義の新目標。そして本格的な侵略政策と侵略構造に対して断平として対決しついにいよいよわれわれは、この六八年度の階級斗争の成果を更に一層拡大していくために、今日一戸の奮起を要請されている。

六八日斗争は、沖縄の全野党を先頭とする対右派・人民の反政府・核基地反対・原潜阻止の全県的斗争をもつて開始された。七〇日アジア・核安保の主題をなす沖縄斗争の重要性を踏まえて、本土のわれわれの主体的な斗争をもつて沖縄労働者の斗争に呼応しつつ勝利の展望をつくりださねばならぬ。

三選佐藤内閣は、アジアにおけるアメリカ帝国主義の一定の後退という情勢のなかで、日米共同支配体制の確立へ帝国主義的野望を燃やしている。今秋の佐藤・ニクソンによる日米首脳会談を頂点に、七〇日安保の実質的取り決めをはかる支配階級のスケジュールは、既にこがれた。われわれの反響から右翼への斗争は一瞬ヒリともゆるめはならない。

来る一月二十八日から四日間、京都室ヶ池国際会議場において「沖縄およびアジアに關する日米京都会議」が開催される。先の下田駐米大使の発言が示すごとく、佐藤内閣の沖縄への基本姿勢は、「沖縄の自由使用」「核基地容認」であり、そこで核付き返還を画しての日本の核武装である。日米京都会議は民間人というベールをかぶり乍ら、その実、日米両政府の沖縄問題の処理方針の地はらひであり、その方向を決定づける重大な性格を有するものである。沖縄斗争を主体的に形成していく任務を担つてきたわれわれは、この重要な、そこで危険な会議を黙過することは許されぬと考へる。このようは斗争こそが沖縄における二月四日全県ゼレストに真に連帯するものであることを確信する。そして

われわれは二つにおいて、今日まで反戦斗争を主体的に推し進めてきた全関西の青年労働者・学生、この団体・個人が、沖縄の核基地反対、日米撤去・本土へ沖縄全島の基地撤去を、日米京都会議に迫る斗争に参加されるよう要請する。

記

- 一、一・二八沖縄問題日米京都会議粉砕全関西青年学生総決起集会
- 一、日時 一月二十八日（火）午後六時半より
- 一、場所 京都市内 円山公園
- 一、デモ 会場から増舎（ホテル未定）まで

以上

叩 案 内

行動に参加する全この団体による打ちあひせ会を左記の母順で開きます。参加下さい。

- 一、日時 一月二十五日（土）午後二時から
- 一、場所 京都労働会館二階会議室
- 一、議題 当日の行動について

なお 連絡先は、京都市下京区四条寺町下ル 労働会館内京都総評気内 京都反戦事務局 まで
(075)361-4348